

春季特別展

「江戸の技—細密工芸の世界—」

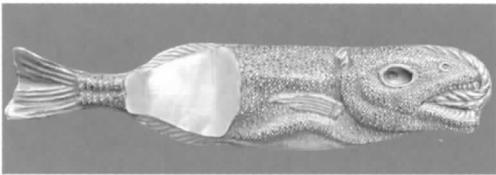
江戸時代、天下泰平の世が続く中で、裕福になった町人たちが豪華な装身具を持つようになり、自らを表現する小道具のひとつとして、彼らは競ってオリジナルを所望し、奇抜な発想や凝った意匠のものを注文しました。それぞれの装身具にこめられたそれらの意匠は、持ち主の趣味や人柄までもうかがわせてくれます。

そしてどんなに奇抜な発想でも意匠でも、当時は木地師、蒔絵師、金工師、根付師など、それに応える高度な技術をもった職人たちが存在し、気の遠くなるような手間をかけて数々の名品を作り上げていきました。そこには江戸の技の精華と呼べる、職人たちによる技の競演をみるることができます。

小さな工芸品たちに込められた職人たちの気概とエネルギー、最高の素材と技術が織り成す小宇宙をお楽しみください。



孔雀蒔絵螺鈿印籠  
初代稲川作



蒔絵干鮭根付  
小川 破笠作

おがわはりつ  
小川破笠 (1663~1747)  
伊勢生まれ、江戸に出て芭蕉の高弟となる。破笠の描いた「芭蕉像」は有名。のちに工芸家となり、「破笠細工」と呼ばれる蒔絵に貝、牙角、陶磁、板金などを嵌入了独自の様式を打ち立てた。破笠細工は、国内に現存するものは少なく、この「蒔絵干鮭根付」は破笠の代表作として有名である。

4月29日(月)は、無料開放を行います。

会期 4月27日(土) ~ 6月23日(日)  
開館時間 午前9時~午後4時30分 (入館は4時まで)  
休館日 5月7・13・20・21・27日  
6月3・10・17・18日  
観覧料金 一般 600円(420円)  
高校・大学生 400円(280円)  
小・中学生 200円(140円)  
( )内は20名以上の団体料金です。

かわにしかずのり  
**「河西万文教授退官記念展 —美と武の軌跡—」開催中**

会期 4月2日(火)~21日(日)  
開館時間 午前9時~午後4時30分 (入館は4時まで)  
休館日 4月8・15・16・22日

**童謡を歌う会**

昨年野口雨情展に併せて開催し、好評を頂きました「童謡を歌う会」を、下記のとおり開催いたします。なお、本年は野口雨情生誕120年にあたります。事前の申し込みは必要ありませんので、お気軽にご参加ください。

日時 5月2日(木) 午後2時~3時  
会場 当館エントランスホール  
協力 都留市合唱連盟

4月6日(土)より  
**ミュージアム都留 「チャレンジランキング」スタート!**

きみはどこまでできるかな?いろいろなことにチャレンジしてみよう!  
優秀者は、ミュージアム都留「ランキングブック」に記載するよ!

日時 毎週土・日曜日 午前9時~午後4時まで  
※事前の申し込みは要りません。ご自由にご参加ください。テーマは毎月変わります。

4月のテーマ 「ふるさとの地名にチャレンジ!」

①自分の家のあるところ、学校のあるところは、どう呼ばれているのかな?読めるかな?書けるかな?やってみよう!  
例:谷村、川茂、鹿留、禾生

②自分の家や学校は、都留市のどこにあるのかな?地図の上からさがしてみよう!

①答え:やむら、かわも、ししどめ、かせい